

## 平成24年度 第2回文化財審議会議事録

日 時 平成25年3月29日（金） 午前10時00分から午前11時15分

場 所 鳥取市役所第2庁舎 5階第1会議室

出席者 星見清晴委員（会長）、尾崎委員、高田委員、永松委員

（浅川・岸本・樫村委員欠席）

事務局：林文化財課長、谷岡課長補佐、佐々木鳥取城整備推進係長、森主幹、加川主任、

### 1 文化財課長あいさつ

第1回の審議会で答申をいただき市指定文化財となった用瀬の「赤波川おう穴」は、今後は県指定の方向に向かっているという状況。今回は報告事項が中心だが、マスコミ報道もされている案件もある。委員の方々の指導ご意見をお願いします。

### 2 会長あいさつ

現在やまびこ館で、埋蔵文化財の発掘調査の成果が展示されている。更なる調査の進展を期待している。今回は指定文化財の毀損の報告などもあり皆さんの御意見をいただきたい。

### 3 報告事項

#### （1）鳥取県指定文化財の毀損と今後の対応について

事務局：資料1により説明。

尾崎委員：今後も同様なことは可能性がある。十分な対策をお願いしたい。

高田委員：原因を十分に把握し、安定台の作成時には工夫すべき

星見会長：やまびこ館の収蔵体制についての課題があるか

事務局：収蔵庫本体はしっかりしている。取り扱いについての研修に取り組む。

#### （2）旧鳥取高等農業学校本校舎の解体撤去について

事務局：資料2により説明。

高田委員：部材を引き取り展示することを検討するとあるが、具体的にどうか

事務局：柱などを想定している。

高田委員：解体するよりも、保存することが有利となるような仕組みづくりが必要。県議会の議決とは何か。

事務局：県の執行部に対し、残すための働きかけをすべきとの決議をされたもの。具体的な内容は無い。

高田委員：平成13年に価値が高いと判断された後の状況はどうか。

事務局：費用負担がネックとなった。

高田委員：四十連隊舎建築群についての見通しはどうか。

尾崎委員：解体部材で楽器を作って残す方法もある。

星見会長：残るものは展示に心がけてほしい。

#### （3）市庁舎整備に係る埋蔵文化財調査について

事務局：資料3により説明。

高田委員：遺物の量的な出土状況はどうか。

事務局：コンテナ20箱程度とかなりの量があった。

高田委員：遺物整理・分析を進めてほしい。

高田委員：市庁舎整備の見通しはどうか。

事務局：6月頃を目途に結論が出る。

高田委員：本調査になるとすれば膨大な面積だ。大変な調査であることを広く認識してもらい必要がある。

残土等の処分も関係部局と共通理解してしっかりやってほしい。

(4) 新指定の鳥取県指定文化財について

事務局：資料4により説明。

委員の発言無し

(5) 「うぐい突き」漁法について

事務局：資料5により説明。

今後は無形民俗文化財指定も視野に入れて取り組みたい。

檜村委員と相談しながら進めて行こうと考えている

(6) 24～25年度の主な保存修理事業について

事務局：資料6により説明。

委員の発言無し

4 その他

事務局：協議案件なし。

5 閉会